

第7回 京都老舗体感ゼミナール®

2020年 9月10日(木)・11日(金)

2020年度の「京都老舗体感ゼミナール®」は、9月10日(木)、11日(金)の開催が決定いたしました。京都の夏は新緑の「葵祭」で始まり、濃緑の「祇園祭」で終わると言われています。ただ今年は、残念ながらいずれも新型コロナウイルス感染症のため、行列や巡業が中止となってしまいました。

それでも季節は移り変わり、残暑が残る初秋の静寂なひと時に開講致します。

既に100人を超える数多くの経営者や後継者、さらには企業をサポートする税理士・弁護士、弁理士などの専門家などに参加いただきました。

別紙にありますように、様々な参加者の声をいただきながら、毎回よりステップアップした企画を立てています。また、訪問する「老舗」も毎年、その年のテーマに沿って選択して交渉を進めてきました。

ちなみに2018年は源氏物語(1000年)、明治維新(150年)であったことから「宇治と伏見エリア」、2019年は下京区誕生140年のイベントに協賛したこともあり「旧下京区エリア」の老舗企業を訪問させて頂いています。

2020年のテーマは「明智光秀」です。そのため、光秀にちなんだエリアにある老舗や光秀に関係する老舗を選択して交渉を始めました。

今回は、禅寺妙心寺(退蔵院)や足立病院などが訪問先として確定しています。米スタンフォード大学の客員教授でもある退蔵院の松山副住職からは伝統的な組織の有り方や後継者としての考え方、7代目になる足立病院の畑山理事長からは病院のビジネスモデルの構築の仕方や次期理事長の選出法やバトンタッチの仕方などをお話いただく予定です。

これまでの老舗企業というゾーンから範囲を広げたのは、伝統的な寺院や病院の継承の有り方などの中に企業継続のヒントが数多くあると実感したからです。今回も7社(件)の訪問を予定していますが、時間が許せばその間に光秀が信長を攻めた本能寺跡や現在の本能寺、さらには、秀吉と戦った天下分け目の天王山なども巡回する計画を立てています。

老舗の各リーダーには、コロナとの共生社会における考え方などについてもお話しいただくように交渉しています。

また、今回は新型コロナウイルス対策として、従来の20人定員を14人定員として移動に対するリスクヘッジなどにも対応させて頂いております。

京都老舗体感ゼミナール® 開講の理由

中小企業経営の最終目標は“企業の存続”です。しかし、会社が生き続けることは並大抵ではありません。そのため、「何のために生き続けるのか」という「理念や存在価値」が企業存続の最低必要条件となってきます。

昨今、この“企業の存続”が困難になってきました。自社の経営資源を見直さなければならないうえに、変革期に合わせた事業モデルの構築と、後継者への承継・人材の育成が同時期に迫っているからです。大変革した時代において新しいビジネスモデルの構築をどのように模索すべきなのか、次の後継者をどのように選別していくべきなのか、という2つの課題に集約されだしています。その上に感染症が発生しているのですからなおさらでしょう。

そんな中、何百年も続いている老舗企業は、まさに“企業の存続”（ゴーイングコンサーン）のお手本として学ばせていただくべき智慧の宝庫です。商品やサービスの開発、品質維持の仕組み、生産技術の考え方、顧客対応力の継続性、さらには、組織運営からマーケティング、人材育成、後継者教育などに関して、数多くの情報、経験、知識が蓄積されているからです。



こうした老舗の歴代経営者の考え方などを、本場、本物、本人とダイレクトに接することで深く感じる事ができる体験型ゼミ「京都老舗体感ゼミナール®」を開講しております。少人数の講座ですので参加者同士の交流にもつながります。是非、ご参加をお待ちしております。

老舗が老舗として継続できる理由は、時代に対するベンチャー企業であるからですが、直接訪問されることで実感できるでしょう。

訪問予定先 9月10日(木) 午前10時 京都駅 出発予定



10日 10:30～ 妙心寺 退蔵院

616年前(1404年)に建立されました。足利義満の弾圧により竜雲寺と変えられた悲しい歴史もあり、また、応仁の乱で妙心寺とともに炎上しましたが、1597年に再建されました。米スタンフォード大学の客員教授でもある退蔵院の松山副住職から、伝統的な組織の有り方や後継者としての考え方などをお話いただきます。また、座禅体験と普段は開放されていない約1,000坪に及ぶ池泉式回遊式庭園「余香苑」を特別に鑑賞させていただき、その後は退蔵院の茶室で精進料理をいただきます。



10日 13:30～ 松栄堂

京都で最も老舗のお香の製造販売会社で、創業は今から300年ほど前の宝永の時代。以来、一貫して薫香製造をされています。自然素材による天然香料で作られた日本の香文化は国内外から注目されており、2018年に香り文化の情報発信拠点として「薫習館(くんじゅうかん)」をオープンされました。専務の畑元章様から後継者として受け継いでいこうと感じた転換期のお話や、さらに先の次世代への継承についてなどをお話いただきます。

10日 15:30～ 足立病院

民間の産婦人科病院の必要性を感じた初代が政府の補助を受け明治35年に創設され118年になります。出産だけでなく女性の一生に携わることができる病院を目指し、子育ての支援(保育園の開設)、思春期～老年期まで女性のライフステージにおけるヘルスケアをサポートされる体制を構築されてきました。7代目になる足立病院の畑山理事長から、病院のビジネスモデルの構築の仕方やコロナ

との共生の仕方などをお話いただきます。

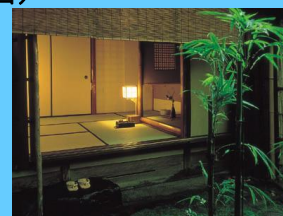


Since 1902
Adachi Hospital

10日 17:30～ 炭屋(宿泊)

旅館としては創業110年程ですが、元来は江戸時代から鍛冶屋、茶室などを展開されてきたのが京都三大老舗旅館と呼ばれている炭屋旅館です。旅館に着くとすぐに若女将から本格的な茶室での「お茶事体験」をしていただきます。

さらに、堀部寛子女将から「先人が守り続けてきたあるべきこと」など、炭屋旅館の歴史について語っていただきます。その後、それぞれの部屋にて休憩いただき、京懐石のフルコースをいただきます。



【オプション】10日の夜には花柳界のお茶屋への訪問を予定しています。

受講者の声…

- ▶「老舗」と聞くと、伝統を守りつつ、先代の想いややり方を伝承し続けている家業、というイメージでしたが、そればかりではないと知り驚きました。
現代風にアレンジするも、根っこの部分を変えない、その根っこが何なのか、それをしっかりと捉え伝え続けていることが老舗の条件なのだと、身をもって感じました。また、その思いが従業員・関係者の方々にも浸透していなければ、本当の老舗ではないことも実感できました。
- ▶回を重ねるごとに自分の引出しの数も中身も増えている実感があります。何度も触れることで、確実に深みが増しているのも事実です。百聞は一見に如かず。更に、見るだけでなく触れ合って、話して、共有して、実践してみて体感することが大事だと感じました。
この体感したことを自分なりの言葉に置き換えて伝えていきたいという欲求が強くなっています。
- ▶皆さん伝統を守るため、いろいろとイノベーションをおこない現在に至っておられること敬服いたしました。やはり信用が第一。お客様のお役に立って初めて企業が存続することを学ばせていただきました。
- ▶今回は今までの自分を振り返ると共にこれからの自分が進むべき道を教えて頂いたゼミでした。今回教えて頂いたことを続け次の世代にバトンを渡せるようにします。
- ▶一般の京都老舗ゼミでは各訪問場所での見学、代表者からの直接のお話等、単なる観光では体験できない多くのことを直に学ぶことができ、また、参加メンバーの方々とも親しく交流させていただき充実した研修となりました。
- ▶自らの存在価値とは何か、どうすれば人様のお役に立てるのか。京都老舗体感ゼミナールは会社だけでなく自分自身に問いかける修行の場でもありました。

9月11日(金) 長岡京エリア訪問予定

11日 稲盛ライブラリー

京セラ創業者 稲盛和夫氏の人生哲学、経営哲学を継承することを目的に開設されました。ライブラリー内はすべて稲盛ワールドです。生い立ちから創業への歩み、そして、経営哲学に至る背景などがテーマごとに展示がされています。稲盛氏の人生哲学、経営哲学が学べますが、その土台は石田梅岩の心学と言われています（案内ガイド付き）。



11日 京料理 錦水亭

創業は明治14年(1881年)のため139年の歴史があります。長岡八幡宮の中にある八条ヶ池を取り入れた数寄屋づくりの大小のお座敷が点在し、一万坪の庭園には老松、桜、紅葉などが季節ごとに彩りを添え、見事な景観を楽しませてくれます。厳選された季節の食材で作られた料理を目と舌でたっぷり味わっていただき、池田女将から継続の秘訣をお聞きます。

11日 天王山&勝竜寺城跡

天王山は、今では大一番のことを言いますが、元は明智光秀と豊臣秀吉の合戦の舞台です。また、勝竜寺城(勝龍寺城)は、細川ガラシャ(明智光秀の娘・玉(ガラシャ))の住居で、本能寺の変の後、天王山での山崎の合戦に敗れた光秀がこの城で最後の夜を過ごしたと言われています。

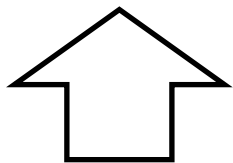


11日 江崎器械株式会社

満州からの引き上げ船の中でも子どもが次々と亡くなっていく姿を見て、「命を守る」仕事に関わりたという思いで初代が医療器具卸業を創業。2代目はカイロプラクティック事業を日本に導入され、3代目は「健康」の前後左右をサポートする新たな価値創造に挑戦されています。事業承継の難しさや21世紀に向かった戦略などを江崎健太郎社長からお話いただきます。

9月11日(金) 午後5時30分ごろ 京都駅 解散予定

ダンコンサルティング(株)



FAX 03-3232-1198

お 申 込 書

定員になり次第締切となりますので、お早めにお申し込みください。
(定員14名・1社2名様まで)

ふりがな		代表者名	
会社名		ご担当者	
所在地	〒		
電 話		ファックス	
Mail	@		

ご参加者

1	ふりがな	
	氏 名	
	役職	
2	ふりがな	
	氏 名	
	役職	

※京都駅集合(八条口 予定)／大型観光バス (MKバス) で移動

参 加 費 用	
経営者	¥220,000 (消費税別・1泊2日)
経営者ご同行者様 (後継者・幹部社員等)	¥180,000 (消費税別・1泊2日)

参加費用には、9月10日(午前10時)京都駅出発以降、11日の京都駅解散(午後5時30分予定)までのゼミナールにかかる費用(退蔵院での精進料理、錦水亭の京料理、炭屋の宿泊・食事代、各種入場料など)などが含まれています。

【お問い合わせ】



DAN PARTNERS ダンコンサルティング株式会社 担当：小林

TEL: 03 (3232) 1409

Mail: kobayashi@dan-tcg.co.jp